

仙北市学校施設長寿命化計画

【学校プール施設編】

(第1回改訂)

令和8年3月改訂

(令和3年3月策定)

秋田県仙北市教育委員会

学校施設長寿命化計画(第1回改訂)

【学校プール施設編】

目次

第1章 学校プール施設の現状と課題(実態把握)	1
1 本計画対象の学校プール施設.....	1
2 学校プール施設一覧(施設保有状況).....	2
3 学校プール老朽化状況の実態把握.....	4-7
第2章 学校プール施設の目指すべき姿と課題(目標設定)	8
1 本市の学校プール施設の現状と課題.....	8
2 学校プール施設の目指すべき姿.....	9
第3章 学校プール施設整備の基本的な方針等	10
1 学校プール施設の規模・配置計画等の方針.....	10
2 改修等の基本的な方針.....	10
3 学校プール施設の「使用見込み期間」(目標耐用年数)の設定.....	11
4 維持・更新にかかるコストの算定.....	12
5 具体的な整備方針.....	13-16
6 存置されるプールの今後.....	18
第4章 学校プール施設の長寿命化計画の今後	19
1 学校プール施設の今後.....	19
2 まとめ.....	19

第1章 学校プール施設の現状と課題(実態把握)

1 本計画対象の学校プール施設

本計画対象の学校プール施設は、小学校 5 校および中学校 1 校に付属する施設とします。

図 1-1 に学校プール施設等配置状況を示します。



図1-1 プール施設等配置状況

2 学校プール施設一覧(施設保有状況)

学校プール施設は、総延床面積は5,302㎡となっています。またプール管理棟は、5棟(小学校4棟、中学校1棟)であり、総延床面積は430㎡となっています。

表1-1にプール施設等一覧表を示します。

表1-1 プール施設等一覧表

令和7年現在

No.	施設名	用途	延床面積 (㎡)	構造	建築 年度	経過 年数
1	生保内小	プール本体	1,210	FRP	H8	29
		プール管理棟	108	W	H8	29
2	西明寺小	プール本体	1,100	SS+RC	S51	49
		プール管理棟	58	S	S51	49
3	桧木内小	プール本体	678	SS+RC	S51	49
		プール管理棟	58	S	S51	49
4	角館小	プール本体	704	SS+RC	S51	49
		プール管理棟	98	S	S51	49
5	神代小	プール本体	720	RC	H2	35
		プール管理棟				
6	生保内中	プール本体	890	FRP	H6	31
		プール管理棟	108	S	H6	31
延床面積 総合計		プール本体	5,302			
		プール管理棟	430			

経過年数 30 年以上

経過年数 40 年以上

(1) 学校プール施設の利用状況

前回の長寿命化計画から5年が経過し、本市は学校施設の適正配置の抜本的な見直しを行いました。具体的には白岩小を令和7年4月に角館小に統合し、令和10年度には西木地区の2小学校(西明寺、桧木内)と田沢湖地区の神代小の3校が統合され(西明寺小 校舎使用)新規統合小学校として歩みだします。また神代小においてはプール授業を廃止した中学校(統合)の校舎として利用されるため、桧木内小と神代小のプールはその役目を終える事になります。また、中学校としては唯一プールがある生保内中学校においては令和6年よりその使用が終了しています。

以上の事より本市の学校プールは築50年弱の角館小と西明寺小の2校及び築30年弱の生保内小の3施設ということになります。

参考までに令和7年度の学校プールの使用状況を以下に示します。

学校名：角館小学校 (児童数 334人)

月	6月	7月	8月	9月	計
使用回数(日)	0	12	5	5	22日

学校名：生保内小学校 (児童数 145人)

月	6月	7月	8月	9月	計
使用回数(日)	0	20	15	0	35日

学校名：西明寺小学校 (児童数 95人)

月	6月	7月	8月	9月	計
使用回数(日)	3	21	4	6	34日

学校名：神代小学校 (児童数 115人)

月	6月	7月	8月	9月	計
使用回数(日)	0	10	9	6	25人

学校名：桧木内小学校 (児童数 38人)

月	6月	7月	8月	9月	計
使用回数(日)	0	12	11	3	26日


上記の実績からどの小学校も年間の使用日数が30日前後であることが読み取れます。その年の天候によっては使用日数の多少の前後はあるとしても、年間の使用日数は30日前後で継続するものと思われます。

3 学校プール施設の老朽化状況の実態把握






(1) 躯体以外の劣化状況の調査・把握

調査方法 前回の調査結果並びに当時の写真を参考に複数人での目視確認を実施しました。






表 1-3 部位別劣化状況評価表

		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
生保内小学校	プール管理棟	<p>B</p> <p>○屋根の広範囲に発錆</p> 	<p>B</p> <p>○塗装の剥離 ○窓・ドアに発錆</p> 	<p>B</p> <p>○概ね良好</p> 
	プール本体および周辺施設	<p>B</p> <p>○プール本体概ね良好 ○外部基礎周辺に塗装剥離 ○部分的にひび割れ ○フェンス等塗装剥離</p>  		






健全度 75/100点

		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
西明寺小学校	プール管理棟	C ○経年劣化 ○広範囲に発錆 	C ○著しい経年劣化 ○広範囲に塗装剥離 	C ○著しい経年劣化 ○WC・更衣室は使用禁止措置、機械室ドア劣化 
	プール本体および周辺施設	C ○プール本体・プールサイドの著しい経年劣化 ○本体塗膜の一部亀裂損傷 ○施設周辺一部盛土崩壊の恐れ  		



健全度 40/100点

		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ
桧木内小学校	プール管理棟	C ○部分的に発錆 	C ○著しい経年劣化 ○部分的に塗装剥離 ○部分的にコンクリート損傷 	C ○著しい経年劣化 ○広範囲に塗装剥離 ○部分的にひび割れ 
	プール本体および周辺施設	D ○プール本体の経年劣化 ○プールサイドの著しい経年劣化 ○洗体層シートの劣化・膨れ ○部分的にタイル剥離  		

健全度 28/100点

		屋根・屋上	外 壁	内部仕上げ
角館小学校	プール管理棟	C ○部分的に発錆 	C ○著しい経年劣化 ○塗装剥離・水しみ ○バットレス等鉄部発錆 	C ○著しい経年劣化 ○部分的に雨漏り痕 ○トイレの洋式化急務 
	プール本体および周辺施設	C ○プールサイド、日除けシェルター等、周辺施設の部分的な劣化 ○プールサイドの不陸顕著  		

健全度 40/100 点

		屋根・屋上	外 壁	内部仕上げ
神代小学校	管理棟無し			
	プール本体および周辺施設	B ○本体側壁等コンクリートに一部亀裂 ○施設周辺土留めコンクリート等著しい経年劣化 ○フェンス等に発錆  		

無評価

(2) 劣化状況の評価(健全度の算定)

劣化状況は今回の目視調査により評価します。

「健全度」については、当該「劣化状況調査票」の算定値を採用します。

■ 施設情報と評価結果

表1-4 施設情報と評価結果一覧

建物基本情報							劣化状況評価						
No.	施設名	用途	延床面積 (㎡)	構造	建築年度	経過年数	屋根屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	プール本体	※健全度
1	生保内小	プール本体	1,210	FRP	H8	29	B	B	B	B	B	B	75/100点
		プール管理棟	108	W	H8	29							
2	西明寺小 将来統合小	プール本体	1,100	SS+RC	S51	49	C	C	C	C	C	C	40/100点
		プール管理棟	58	S	S51	49							
3	松木内小	プール本体	678	SS+RC	S51	49	C	C	C	C	C	D	28/100点
		プール管理棟	58	S	S51	49							
4	角館小	プール本体	704	SS+RC	S51	49	C	C	C	C	C	C	40/100点
		プール管理棟	98	S	S51	49							
5	神代小 将来統集中	プール本体	720	RC	H2	35	/	/	/	/	/	B	無評価
		プール管理棟	/	/	/	/							
6	生保内中	プール本体	890	FRP	H6	31	B	B	B	B	B	B	無評価
		プール管理棟	108	S	H6	31							
延床面積 総合計		プール本体	5,302										
		プール管理棟	430										

※健全度は、100点満点評価とする。

■ 評価基準

目視による評価 【屋根・屋上、外壁、プール本体】		経過年数による評価 【電気設備、機械設備、内部仕上げ】	
評価	基準	評価	基準
A	概ね良好	A	20年未満
B	部分的に劣化:安全上・機能上、問題なし (劣化状況や更新周期を踏まえた中長期での修繕が必要)	B	20年~40年
C	広範囲に劣化:安全上・機能上、不具合発生の兆し (比較的早期に計画的な改修が必要)	C	41年以上
D	早急に対応する必要がある (安全面・機能面に影響が大きい)	D	経過年数に関わらず著しい劣化 事象がある場合

※「内部仕上げ」については、改修工事の実施年度を基準とした経過年数及び目視での評価により、総合的に判断する。

第2章 学校プール施設の目指すべき姿と課題(目標設定)

前章では学校プール施設の老朽化の程度について現地調査を行い、評価しました。

その結果を踏まえ、本章では今後も継続利用される施設のそれぞれの問題点を洗い出し、改修すべき項目を整理し、今後の課題を定めます。

1 本市の学校プール施設の現状と課題

(1) 加速する老朽化

存続利用が想定される本市の小学校プール3校のうち2校が昭和 51 年に建設され、築後 49 年になっている状況です。生保内小学校に関しては築約 30 年という状況です。

近年は、校舎や屋内運動場の耐震化を最重要課題として改修事業が進められてきましたが、プール施設に関しては、大規模改修工事が未実施であり、予算的にも予防保全を行うことは難しく、不具合が起こるたびに修繕を行うサイクルとなっている状況です。

プール施設の老朽化が激しい要因としては、すべて屋外プールであるために風雨や紫外線にさらされていること、またプールの使用期間も一般に 6 月中旬から 8 月中旬までの概ね 2 か月間程度という短期間の中で、防水塗装やプールサイドのブロックおよび内外装等が、使用しなくても劣化している状況となっていることが考えられます。加えて、ろ過設備や配管においても稼働しない期間が劣化を進行させているものと考えられます。

そのような状況の中で、今後の利用頻度、将来の適正配置を鑑み、それぞれの学校の現状に適した計画的な整備が必要となっています。

2 学校プール施設の目指すべき姿

目指すべき姿 ① 安全・衛生・防犯面

- スロープやトイレ洋式化など快適で十分な安全性と衛生的な環境を備えた安全・安心な施設
- 目隠しフェンスなど防犯性を考慮した施設

目指すべき姿 ② 学習・生活面

- 充実した運動学習(健やかな体)ができる環境
- 地域住民がコミュニティを形成する施設の一つとして、地域に開かれた利用しやすい施設

目指すべき姿 ③ 適正配置による効率化

- 複数での共同利用等を視野に入れた運営の検討
- 効率的な地元施設の利活用

第3章 学校プール施設整備の基本的な方針等

1 学校プール施設の規模・配置計画等の方針

本計画の上位計画となる「仙北市公共施設等総合管理計画」には次の基本方針が示されています。

(1) 「公共施設等総合管理計画」における基本方針

「学校教育施設」は計画的な修繕や改修に取り組みます。また将来の児童生徒数の予測を踏まえ、本市の学校教育方針や地域の実情等を考慮した上で、小学校・中学校の適正規模・適正配置を推進し、将来に持続可能で子どもの学びや成長にとって望ましい居育環境を整えます。

2 改修等の基本的な方針

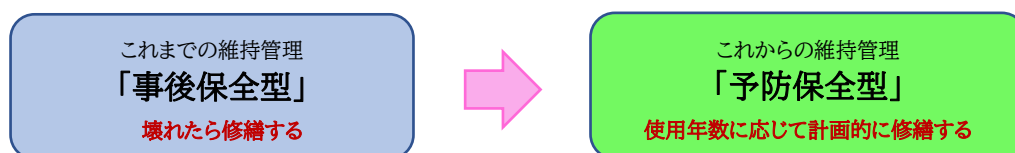
(1) 事後保全型から予防保全型への転換 ～予防保全の方針～

「事後保全型」とは、不具合等の発生の都度修繕等を実施する維持管理方法をいいます。一方、「予防保全型」とは、予め計画した時期に、計画した部位の修繕等を実施する維持管理方法です。

本計画では、保有する学校プール施設を長期に利用することを目的とし、従来の対処療法的な事後保全から予防保全に切り替えることを基本とします。

しかし、事後保全から予防保全に切り替える計画開始時には、老朽化や施設の不具合に対して計画的な修繕、改修等を行っていないため、予防保全の初期段階において、当該未実施部分の保全を一斉に実施せざるを得ないため、事後保全よりかなりの費用が掛かることが予想されます。

本計画では、施設部位の内、当該部位の老朽化が当該施設の機能等に大きく影響する可能性がある「躯体」「屋根防水」「外壁」「機械設備」「プール本体」に対しては予防保全をマネジメントの軸とした施設管理が望ましいと考えます。ただし、児童生徒の安全面等、早急な対応が必要となる場合など、日頃の点検・診断により迅速な対応が必要です。



3 学校プール施設の「使用見込み期間」(目標耐用年数)の設定

(1) 「使用見込み期間」(目標耐用年数)の設定

「公園施設長寿命化計画策定指針(案)」(国土交通省都市局)により、プール施設を「公園施設」と捉えます。

施設の長寿命化の目標として、プール施設使用の計画期間である「使用見込み期間」(目標耐用年数)を設定します。

本計画における対象施設においては、「予防保全型管理」に基づき、目標使用年数を下記のとおり設定します。

表 3-1 対象施設の使用見込み期間 (目標耐用年数)

施設名		処分制限期間* ¹ (年)	使用見込み期間(補正後)* ²	
			事後保全型 (年)	予防保全型 (年)
プール本体		30	40	48
プール給排水衛生工事		15	30	36
プール管理棟	鉄骨造	27	40	48
	木造	24	36	36

表 3-2 使用見込み期間

	事後保全型管理における使用見込み期間	予防保全型管理における使用見込み期間
処分制限期間が 20年未満 の施設	処分制限期間の2倍	事後保全の使用見込み期間の1.2倍と設定 (処分制限×2.4)
処分制限期間が 20年以上～40年未満 の施設	処分制限期間の1.5倍	事後保全の使用見込み期間の1.2倍と設定 (処分制限×1.8)
処分制限期間が 40年以上 の施設	処分制限期間の1倍	事後保全の使用見込み期間の1.2倍と設定 (処分制限×1.8)

※1 適化法(「補助金などに係る予算の執行の適正化に関する法律」)第22条に基づく制限を受ける期間

※2 使用見込み期間について、表 3-3 による補正後の値

4 維持・更新にかかるコストの算定

(1) 「改築」を中心とした従来型の施設整備

これまでの学校施設整備は、一般的に不具合が生じた個所を部分的に改修しながら、建築後概ね40年～50年まで使い続けた後に改築するという整備が行われてきました。

本稿では、この整備手法を「従来型の施設整備」と呼ぶこととし、改築周期は表3-1 事後保全型の40年として試算します。

以下に、従来型の施設整備を行った場合の年度ごとに要する事業費の見通しを示します。

ア 計画の条件設定

表3-4に、従来型の施設整備を行う場合の一般的な事業費の算定条件を示します。

表3-4 施設整備に要する事業費の算定条件(従来型)

【事業費算定条件(従来型)】				
項目		周期	工期	改築・改修単価 (円)/㎡ (学校プール施設:プール本体・管理棟)
改築	プール管理棟	40年	1年	330,000
	プール本体	40年	1年	250,000
大規模改造	プール管理棟	20年	0.5年	82,500
	プール本体	20年	0.5年	62,500
部位修繕	プール施設全体	10年	0.5年	33,000
計画期間		令和8年度(2026年度)～令和42年度(2060年度)		
整備順序		施設の建築年順		
対象施設		プール施設(プール管理棟、プール本体)を対象とする		

※ 改築単価:実績値および見積り

- ・プール管理棟について、鉄骨造、木造共同等とする。
- ・プール水槽は、FRP製とする。

※ 大規模改造:改築の前後概ね5年間に重なる場合は実施しない。(部位修繕、小破修繕等による)

※ 大規模改造の改修単価:「改築単価×25%」とする。(「学校長寿命化計画策定に係る解説書」より)

※ 部位修繕の単価:「改築単価×10%」(実績値)

※ プール管理棟:鉄骨造、木造

※ プール本体:水槽、シャワーユニット、洗顔ユニット、プールサイド、プール機械設備等)

5 具体的な整備方針

前項では従来型の施設整備を行う場合の改修に関して述べましたが、今後は3施設の現状を踏まえ、予防保全を軸としたより具体的な整備について学校毎にまとめます。

1. 生保内小学校

比較的健全度が高く早急な改修は不要と捉え、将来の児童数の減少に伴う再適正配置(4校目の統合)を見据えたプール本体の改修を検討するべきと考えます。

FRP製プールという特性を生かした長寿命化の全面改修(ケース1)と事後保全型に近い全体の30%程度の部分改修(ケース2)が考えられます。また、管理棟については現況の不具合部を部分改修で当面は対応可能と考えます。

2. 西明寺小学校

3校の中では一番劣化が顕著であり、メインプールにおいては漏水の報告があります。また、管理棟のWCが非水洗のため衛生上の観点から現在使用していないというのが実情です。今後統合小として歩みだす新生小学校に配慮して、プール本体の経年劣化並びにWCの衛生面の改善のため、浄化槽の設置まで踏み込んだ改修案(ケース1)とプールとプールサイドを改修し、管理棟は現状維持とする(ケース2)の2案を検討します。また、プール本体の防水改修を多少廉価な工法として軟質ビニルシート防水にする場合(ケース3、ケース4)も合わせて検討します。

3. 角館小学校

拠点校プールとしての位置付け及び予防保全的観点から長期(今後20年程度)を見据えたプール本体の大規模修繕及び管理棟の内外装等部位改修の他近々の改善が必須と思われるトイレの洋式化も検討課題です。

プール本体の防水改修をFREライニング+塗装(ケース1)と軟質塩ビシート防水(ケース2)の2案で検討します。また、将来的には照明のLED化の検討も必要と思われれます。

学校名 生保内小学校 (ケース1)

改修部位	改修仕様	概算額 /千円 消費税 抜き
プール本体	メイン・サブプール共 長寿命化改修 (SS部被膜撤去の上FREライニング+塗装) (全面改修)	35,860 千円
プールサイド	床不陸整正、床全面高圧洗浄、 外周フェンス 塗装タッチアップ	1,580 千円
管理棟外部	シャッター更新、屋根・外壁塗装	3,120 千円
合計		40,560 千円
上記改修想定工期		6ヵ月
今後の 維持管理費	ろ過材交換等消耗品費、プールサイド部分修繕費、 鉄部部分補修費、ろ過機メンテ費	5,000 千円/10 年

学校名 生保内小学校 (ケース2)

改修部位	改修仕様	概算額 /千円 消費税 抜き
プール本体	メイン・サブプール共 SS部被膜撤去の上 FREライニング+防水塗装(30%改修)	17,590 千円
プールサイド	床不陸整正、床全面高圧洗浄、 外周フェンス 塗装タッチアップ	1,260 千円
管理棟外部	シャッター更新、屋根・外壁塗装	3,120 千円
合計		22,290 千円
上記改修想定工期		6ヵ月

維持管理費はケース1と同様

学校名 西明寺小学校 (ケース1)

改修部位	改修仕様	概算額 /千円 消費税 抜き
プール本体	メイン・サブプール共 長寿命化改修 (SS部被膜撤去の上FREライニング+塗装) (全面改修)	35,740 千円
プールサイド	床不陸整正、床全面高圧洗浄、 外周フェンス 塗装タッチアップ	600 千円
管理棟外部	折版屋根耐候性塗装、外壁防水性塗材塗布、 ドア修繕	3,250 千円
管理棟内部	床 シート貼り、内壁塗装、トイレブース更新	1,800 千円
WC改修	水洗洋式化、衛生器具更新、 浄化槽新設(50人槽)、一時側電源	40,000 千円
合計		81,390 千円
上記改修想定工期		8ヵ月
今後の 維持管理費	ろ過材交換等消耗品費、プールサイド部分修繕費、 鉄部部分補修費、ろ過機メンテ費	6,000 千円/10年

学校名 西明寺小学校 (ケース2)

改修部位	改修仕様	概算額 /千円 消費税 抜き
プール本体	メイン・サブプール共 長寿命化改修 (SS部被膜撤去の上FREライニング+塗装) (全面改修)	34,700 千円
プールサイド	床不陸整正、床全面高圧洗浄、 外周フェンス 塗装タッチアップ	720 千円
管理棟外部	足元廻り 高圧洗浄	500 千円
合計		35,920 千円
上記改修想定工期		6ヵ月

維持管理費はケース1と同様

学校名 西明寺小学校 (ケース3)

改修部位	改修仕様	概算額 /千円 消費税 抜き
プール本体	メイン・サブプール共 軟質塩ビシート防水 (全面改修)	12,000 千円
プールサイド	床不陸整正、床全面高圧洗浄、 外周フェンス 塗装タッチアップ	670 千円
管理棟外部	折版屋根耐候性塗装、外壁防水性塗材塗布、 ドア修繕	3,510 千円
管理棟内部	床 シート貼り、内壁塗装、トイレブース更新	1,800 千円
WC改修	水洗洋式化、衛生器具更新、 浄化槽新設(50人槽)、一時側電源	42,000 千円
合計		59,980 千円
上記改修想定工期		8 ヵ月
今後の 維持管理費	ろ過材交換等消耗品費、プールサイド部分修繕費、 鉄部部分補修費、ろ過機メンテ費	6,000 千円/10 年

学校名 西明寺小学校 (ケース4)

改修部位	改修仕様	概算額 /千円 消費税 抜き
プール本体	メイン・サブプール共 軟質塩ビシート防水 (全面改修)	13,140 千円
プールサイド	床不陸整正、床全面高圧洗浄、 外周フェンス 塗装タッチアップ	730 千円
管理棟外部	足元廻り 高圧洗浄	500 千円
合計		14,370 千円
上記改修想定工期		6 ヵ月

維持管理費はケース3と同様

学校名 角館小学校 (ケース1)

改修部位	改修仕様	概算額 /千円 消費税 抜き
プール本体	メイン・サブプール共 長寿命化改修 (SS部被膜撤去の上FREライニング+塗装) (全面改修)	32,280 千円
プールサイド	床不陸整正、床全面高圧洗浄、 外周フェンス 塗装タッチアップ	1,130 千円
管理棟外部	折版屋根耐候性塗装、外壁防水性塗材塗布	5,150 千円
管理棟内部	床 シート貼り、内壁塗装、トイレブース更新	1,800 千円
WC改修	衛生器具更新(便器、手洗い)	3,600 千円
合計		43,960 千円
上記改修想定工期		6 ヶ月
今後の 維持管理費	ろ過材交換等消耗品費、プールサイド部分修繕費、 鉄部部分補修費、ろ過機メンテ費	6,000 千円/10 年

学校名 角館小学校 (ケース2)

改修部位	改修仕様	概算額 /千円 消費税 抜き
プール本体	メイン・サブプール共 軟質塩ビシート防水 (全面改修)	15,660 千円
プールサイド	床不陸整正、床全面高圧洗浄、 外周フェンス 塗装タッチアップ	1,050 千円
管理棟外部	折版屋根耐候性塗装、外壁防水性塗材塗布	5,150 千円
管理棟内部	床 シート貼り、内壁塗装、トイレブース更新	1,900 千円
WC改修	衛生器具更新(便器、手洗い)	3,600 千円
合計		27,360 千円
上記改修想定工期		6 ヶ月

維持管理費はケース1と同様

6. 存置されるプールの今後

生保内中学校のプールについては令和6年にて終了、桧木内小学校、神代小学校については学校統合に伴い令和9年でその利用が終了します。全国的にも小学校の統廃合に合わせてプールを廃止する自治体が増えてきています。

本市においても利用がないまま存置される学校プールの貯水活用については消防水利、災害時の生活用水の利用などが考えられますが、さらなる有効利用については今後も検討を重ねる必要があります。

第4章 学校プール施設長寿命化計画の今後

1.学校プール施設の今後

現在、学校プール施設に関しては、年間 30 日前後と使用時期が限られていることに加え、児童生徒数が減少傾向にあり、使用頻度等に対する維持管理コストが大きいことが懸念材料として挙げられます。長期的な視野でプール授業を継続するためには大きな決断が必要と考えます。そこで検討すべき手法としては ①一校の拠点プールの共同利用(2校、または3校)と ②民間施設の温水プール(西木温泉:クリオン)の同時活用という方法です。①の学校プールを拠点校一つにすることについては大幅な維持管理費の削減が図られます。また、②の屋内温水プールについては熱中症の回避、安定した水温、衛生的な更衣室、シャワーの完備等のメリットが有り、児童が安心、安全に水泳授業を受けられます。

また、どちらのプールを利用するにしても拠点校以外はスクールバス等での移動となることで、子供たちにとっては普段とは違う環境(遠足気分)となり、授業への高揚感を期待出来ることなどが考えられます。一方、当然のことながら今後も老朽化は進行し、維持管理費もかかり続けます。しかし、本市の子どもたちに水と触れあう機会を設け続ける必要があることも明白です。

文科省では小学校における水泳に関する学習指導要領の中で、「**楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付ける**」ことが目的と示されています。

2.まとめ

授業本計画は、長期にわたるものであり、この間、本市の総合計画等上位計画の追加や見直しのほか、建築関連法規や制度の改訂が行われることも予想されます。

また、本市における事業の推進体制や整備水準等については、工事を実施する学校施設等の状況および改修・改築後の運用状況により、適宜改善していく必要があるものと考えます。

仙北市学校施設長寿命化計画

【学校プール施設編】

(第1回改訂)

令和8年3月改訂
(令和3年3月策定)

【編集・発行】

秋田県仙北市教育委員会

〒014-0398 秋田県仙北市角館町上野18番地

TEL :0187-43-3382

FAX :0187-54-2112

E-mail kykanri@city.semboku.akita.jp
